

# 商工観光部

## 重点目標

- 1 大河ドラマ「真田丸」に向けた誘客への取組と広域連携による観光振興
- 2 地域創生に向けた消費喚起と創業支援の推進
- 3 中小企業の活動支援の充実による産業の活性化
- 4 円滑な雇用マッチングのための若者等求職者就業支援と人材育成の推進
- 5 中心市街地活性化と商店街の主体的取組への支援

平成27年度 重点目標管理シート

重点目標	大河ドラマ「真田丸」に向けた誘客への取組と広域連携による観光振興		部局名	商工観光部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第2編 産業・経済 第1章 地域経済を活性化するために 第3節 観光と商業において上田市のファンを増やす			2014市長マニフェスト における位置付け	- 1 - - 3 -	
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年大河ドラマ「真田丸」放送や、北陸新幹線金沢延伸の経緯を踏まえた上、更に「真田三代の郷 信州上田」を継続的にPRするため、真田氏関連自治体等との広域的な連携を図り、首都圏などへ信州上田の魅力発信を展開する積極的な取組みを行い、観光関連事業者をはじめ官民一体となった地域経済効果を高める施策を推進する必要があります。</li> <li>・国内の観光人口が減少していく中、成長市場である東アジアをはじめとする海外からの観光誘客も積極的に推進する必要があり、ラグビーワールドカップや東京オリンピック、ピョンチャン冬季オリンピックの合宿地を菅平高原に招致するためにも、インバウンドの受皿としての整備が必要です。</li> <li>・外国人観光客の受け入れ体制を整えるため、官民連携による推進組織を運営し、観光事業者への積極的な啓発を図るとともに、海外商談会への参加、外国語版ホームページの作成等、情報発信による海外での知名度をアップすることにより、外国人観光客の増加を図ります。</li> </ul>					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「真田三代の郷 信州上田」として上田市ならではの「真田ブランド」を積極的に活用し、大河ドラマや北陸新幹線延伸を踏まえた観光事業展開を実施し、真田街道推進機構をはじめとした真田氏ゆかりの地や、新幹線沿線都市等との広域連携や、上田駅周辺自治体、定住自立圏の滞在型観光地の設定等の更なる発展を図ります。</li> <li>・北陸新幹線延伸による北陸地域の国際空港との繋がりや、ラグビーワールドカップ合宿地等に向けて、外国人観光客が訪れていただくための取組みを進めます。</li> <li>・信州上田おもてなし武将隊や、銀座NAGANOシェアスペースの有効的且つ効果的な活用を推進してまいります。</li> <li>・観光施策の更なる推進のため、上田観光コンベンション協会組織体制を強化してまいります。</li> </ul>					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
	真田氏関連自治体との連携 (1)真田街道推進機構等の真田氏関連自治体の活動 ・真田街道推進機構及び真田氏ゆかりの自治体でのスタンプラリーの実施等 (2)長野市との連携した取組 ・善光寺御開帳等を活用した広域的に連携した誘客の取組み	(1) 秋季 (2) 4～5月	(1) 真田街道推進機構及び真田氏ゆかりの自治体でのスタンプラリーの実施1企画 (2) 善光寺御開帳記念イベントへの期間中の参加実施1企画	(1) 真田街道推進機構及び真田氏ゆかりの自治体スタンプラリー企画の実施(平成27年9月開始) (2) 善光寺御開帳記念イベントに真田街道推進機構PRブースを一週間出展、上田地域広域連合PRブースを1回出展。	(1) 真田街道推進機構及び真田氏ゆかりの自治体スタンプラリー企画の継続的な実施 (2) 善光寺御開帳記念イベントに真田街道推進機構PRブースを一週間出展、上田地域広域連合PRブースを1回出展。	
	北陸新幹線金沢延伸にともなう信州上田のPR (1)北陸地域での信州上田の知名度の向上と誘客の促進 ・北陸新幹線停車駅都市観光推進会議の平成27年度幹事市が上田市による事業展開の実施 ・金沢市で上田地域広域連合や定住自立圏市町村との共同観光キャンペーンの実施 ・北陸新幹線停車駅構内のデジタルサイネージによる信州上田のPR	(1)-1 通年 (1)-2 7月頃 (1)-3 7月頃から	(1)-1 推進会議の実施3回 (1)-3 共同キャンペーンの実施1回 (1)-2 デジタルサイネージによるPRの実施 3箇所程度	(1)-1 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議を5回実施(幹事会1回、共同研究会3回、総会1回) (1)-2 MRO旅フェスタin金沢・6月27日(土)～28日(日)に上田地域広域連合と共同出展 (1)-3 北陸新幹線停車駅構内のデジタルサイネージ等広告について協議検討中	(1)-1 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議を5回実施(幹事会1回、共同研究会3回、総会1回) (1)-2 MRO旅フェスタin金沢・6月27日(土)～28日(日)に上田地域広域連合と共同出展 (1)-3 北陸新幹線停車駅構内の観光PR広告掲載実施(金沢駅)	
	インバウンドへの取組み (1)外国人観光客受入体制の整備 ・官民連携によるインバウンド推進組織の活動運営 ・外国語版ホームページの開設 ・外国語観光パンフレットの製作 (2)台湾等、外国からの観光客誘致 ・外国旅行エージェントへのPR ・台湾での観光PRの検討 (3)受入環境整備の実施 ・Wi-Fi等整備事業の実施	(1)-1 通年 (1)-2 12月までに (1)-3 12月までに (2) 通年 (3) 通年	外国人宿泊者数8,000人 (1)外国人観光客受入体制の整備 ・推進組織の開催実施 ・外国語ホームページの開設 ・外国語観光パンフレットの製作 (2)台湾、タイからの観光客誘致 ・外国旅行エージェント商談会への参加 ・台湾での観光PR方針の確立 (3)受入環境整備の実施 ・Wi-Fi等整備事業実施1箇所以上	(1) ・インバウンドミーティング1回実施(5月) ・外国語ホームページ製作中 ・外国語観光パンフレット作成中 (2) ・外国旅行エージェント商談会1回参加(5月・東京) ・台湾での観光PR実施(6月) (3) ・Wi-Fi等整備事業33箇所実施中	(1) ・インバウンドミーティング3回、ワークショップ1回実施 ・外国語ホームページ製作 ・外国語観光パンフレット作成 (2) ・外国旅行エージェント商談会1回参加(5月・東京) ・台湾での観光PR実施(6月) (3) ・Wi-Fi等整備事業33箇所実施済み	
	観光誘客宣伝の強化推進 (1)おもてなし武将隊を活用した観光PR活動の充実 (2)「銀座NAGANOしあわせ信州シェアスペース」を活用したイベントの開催 (3)首都圏、関西方面での観光PR活動 (4)大坂の陣400周年を契機とした観光誘客の促進 (5)首都圏、関西方面での高速バス・ラッピング	(1) 通年 (2) 6月～3月 (3) 通年 (4) 5月～ (5) 通年	(1) 上田城でのおもてなし300日 (2) 上田市として4回、広域連合事業として1回実施 (3) 市外での観光PR40回 (4) 400周年に係る関西地域での観光PR1回以上 (5) 高速バス・ラッピング事業の1企画	(1) 上田城でのおもてなし148回実施 (2) 上田市として3回実施(4、6、8月) (3) 観光PRを首都圏1回(9月)、関西方面1回(5月)実施 (4) 大坂の陣400周年記念事業として「幸村博(天王寺区)」に参加(5月) (5) 首都圏、関西方面での高速バス・ラッピングを実施	(1) 上田城でのおもてなし332回実施 (2) 上田市として6回実施(5、6、8、9、11、3月) (3) 観光PRを首都圏11回、関西方面6回実施 (4) 大坂の陣400周年記念事業として「幸村博(天王寺区)」に参加(5月) (5) 首都圏、関西方面でのバス・ラッピングを実施	
	上田市観光コンベンション協会の受け入れ組織の見直し (1)観光会館売店の改修 (2)新たな観光推進法人の設立 (3)現観光コンベンション協会のあり方を決定	(1) 平成27年中 (2)(3) 平成27年度中	(1) 観光会館売店の改修工事施行 (2)(3) 平成27年度中に新たな観光推進法人を設立。あわせて現観光コンベンション協会のあり方を決定	(1) 観光会館売店の改修工事竣工(9月19日新装開店) (2)(3) 検討中	(1) 観光会館売店の改修工事施行済み (2)(3) 検討中	
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			取組による効果・残された課題		

平成27年度 重点目標管理シート

重点目標	地域創生に向けた消費喚起と創業支援の推進			部局名	商工観光部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第2編 産業・経済 第1章 地域経済を活性化するために 第2節 工業基盤を整備し企業を支援する			第2章 新産業・新技術の開発を促進するために 第1節 新分野へ挑戦する企業・人材を育成する 第2節 産学官や企業間の連携を進める		2014市長マニフェスト	-1-
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の経済情勢については、売上や受注が回復基調にある企業がある反面、円安に伴う輸入原材料の上昇で収益が圧迫されている企業もあるなど、業者間で格差が見られます。</li> <li>また、消費増税後、景気の自律的な回復が本格化していない中で消費マインドは弱く、商品の販売が芳しくないという声もあります。</li> <li>雇用情勢については、改善傾向があるものの、創業支援や新分野へ挑戦する企業など支援し、新産業創出や雇用創出を推進することが重要であります。</li> </ul>						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費マインドを刺激し、地域内消費を喚起するために、商工団体と連携してプレミアム付商品券を実施することで、地域経済の活性化を図ります。</li> <li>創業支援や首都圏からの起業希望者の誘致を行うことで、企業活動の活性化と企業間交流の活性化による新たな産業の創出を目指します。</li> </ul>						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
地域消費の喚起による経済の活性化 (1) プレミアム付商品券事業の実施による地域消費の喚起と地域経済の活性化 (2) 中小企業者のニーズと経済情勢を踏まえた融資制度の見直しによる資金繰り支援の充実	(1)4月～3月 (2)4月～3月	(1)プレミアム付商品券発行（総額7億2,000万円） (2)中小企業制度融資の金利引き下げ等制度の充実と弾力的運用	(1) 市内3商工団体による「信州上田さなだ六文銭プレミアム商品券」の発行を支援し、7月5日市内8カ所で、総額7億2,000万円（6万セット）販売し、即日完売。 また、子育て世帯支援として、子育て世帯へ「購入上限引上げ券」を発行した。利用世帯は1,059（利用率約12%）。 (2) 公共事業資金、関連倒産防止資金、子育て支援資金の金利を0.3%引下げ、関連倒産防止資金については、融資期間を2年延長し、制度の充実を図った。	(1) 市内3商工団体による「信州上田さなだ六文銭プレミアム商品券」事業全体の利用額・利用率は、7億1,839万2千円（利用率99.78%）市の助成額1億3,611万円に対し、消費喚起効果は、5億1,361万円 (2) 公共事業資金、関連倒産防止資金、子育て支援資金の金利を0.3%引下げ、関連倒産防止資金については、融資期間を2年延長し、制度の充実を図り、ほか制度と合わせて302件の迅速な融資を実行			
上田市創業支援事業計画の推進 (1) 創業プラットフォーム構成団体と連携した創業支援に取組みます。 (2) 首都圏から起業創業者の誘致に取組みます。	(1)4月～3月 (2)4月～3月	(1)創業支援事業者連絡会議の開催（10回） (2)首都圏からの起業創業者誘致活動（随時）	(1) 創業プラットフォーム構成団体（上田商工会議所、AREC、（一社）ループサンパチ）が行っている支援状況の共有を図るため連絡会議を6回開催。 (2) 創業プラットフォーム関係者と共に「地域仕掛け人市」を含め首都圏からの起業創業者誘致活動を15回実施。	(1) 創業プラットフォーム構成団体（上田商工会議所、AREC（一社）ループサンパチ）が行っている支援状況の共有を図るため連絡会議を12回開催。延べ相談件数275件、創業件数42件、3月議会で創業促進のために、製造業等の創業10年未満の創業者を対象に家賃補助等の補助制度を新設。 (2) 創業プラットフォーム関係者と共に「地域仕掛け人市」を含め首都圏からの起業創業者誘致活動を15回実施。東京からのベンチャー誘致実現2件。			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・商工団体と連携してプレミアム付商品券事業を実施することで、消費者に対する魅力向上を図るとともに、継続的な市内消費につながる取り組みを推進		取組による効果・残された課題 ・プレミアム付商品券により消費が喚起され、5億以上の経済波及効果があった。 ・2件の誘致が実現出来たため、さらなる相談体制の強化により誘致を促進する。 ・市内消費が継続的に続くような取り組みが必要である。				

平成27年度 重点目標管理シート

重点目標	中小企業の活動支援の充実による産業の活性化		部局名	商工観光部	優先順位	3位
総合計画における 位置付け	第2編 産業・経済 第1章 地域を活性化するために 第3節 観光と商業において上田市のファンを増やす		2014市長マニフェスト における位置付け		1	
現況・課題	・国内経済は、為替相場の円安基調による輸出環境の改善や国による各種経済対策が実施される中で、個人消費が底堅い動きとなるとともに、雇用情勢が改善傾向にあるなど、緩やかな回復基調が続いていますが、円安による輸入原材料の上昇が企業経営にマイナスの影響を与えるとともに、海外経済の下振れが国内景気に影響を与えることも懸念されます。					
目的・効果	・中小企業の資金繰り支援である制度融資について、企業ニーズや経済情勢を踏まえて弾力的に運用することで、中小企業のセーフティネットを充実します。 ・販路開拓や農商工連携などに意欲的に取り組む中小企業者に対する支援を充実することで、中小企業の経営力の強化を図ります。 ・事業所訪問等による情報収集や設備投資の助成制度の検討等を行うことで企業誘致策を充実し、市内の企業活動の活性化を図ります。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
	地域経済の実態把握と関係機関との連携充実 (1) 経営支援や雇用支援に係る関係機関との連携を図るために地域雇用合同連絡会議を開催 (2) 経営実態調査や企業訪問による地域経済の情勢把握の充実 (3) メールマガジンなどによる情報発信の充実	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)地域経済雇用合同連絡会議の開催(4回) (2)経営実態調査の実施(2回) (3)メールマガジンの発行(月2回以上) 対象企業1,813件	(1) 関係機関と連携し、地域経済雇用合同連絡会議を2回(5月、8月)開催し、情報の共有化、課題の認識を図った。 (2) 地域経済の実態把握のため、市内199事業所に調査表を送付し、経営実態調査の第1回(7月)を実施。 (3) メールマガジンを7回発行し、国の補助金募集情報、中小企業支援情報等を発信。	(1) 地域経済雇用合同連絡会議を4回(後半は、11月、2月)開催することにより、関係機関との情報共有と課題の認識、地域経済活性化に向けた連携を図ることができた。(達成度100%) (2) 経営実態調査の第2回目を12月(市内212事業所に調査表を送付)に実施し、新興国経済減速の影響など弾力的な調査も実施。景況感や雇用情勢などを把握することができた。(達成度100%) (3) メールマガジンを19回発行することにより、補助制度の概要の提供が図られました。(達成度80%)	
	意欲ある中小企業に対する支援の充実 (1) 商工団体等との連携による販路開拓の支援 (2) 産業展等に出席する企業に対する支援 (3) 農商工連携等、意欲ある中小企業者に対する支援の充実	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)3商工団体連携による共同出展の実施(2回以上) (2)販路拡大補助金による支援の実施(10件以上) (3)メールマガジンによる情報提供や相談の実施(随時)	(1) ブラジルロンドリーナ祭りに向けた海外展開支援を実施。 (2) 「NEW環境展」や「機械要素技術展」など工業展等に出展する際の補助支援10件を行った。 (3) メールマガジンによる情報提供、農商工連携による具体的取組に対し、国の認定手続きへの相談から伴走型支援を実施。	(1) ロンドリーナ祭りにおいて、大河ドラマ「真田丸」をPRするとともに、市内企業1件が出展し、販路開拓を支援した。 また、3商工団体連携では、「テクノガイド上田」を作成し、冊子、インターネットによる上田地域の技術力、製品情報を発信した。 (2) 出展費用の補助を行うことで、自社製品・技術のPRによる販路開拓を支援22件実施した。 (3) 農商工連携に関する補助金の情報提供(11件)をする中で、関係機関と連携して事業化の支援を図った。 農商工等連携事業に係る具体的取組に対し、国の認定手続きへの相談から伴走型支援を実施し、信越明星株式会社(秋和)が認定を受けた。	
	産業立地の優位性を活かした製造業の企業誘致・留置の推進 (1) 企業からの情報収集及び行政等からの情報提供 (2) 国・県からの企業動向情報収集及び空き工場等の情報提供 (3) 企業の設備投資を助長する工場立地法準則条例制定(緑地面積率の規制緩和) (4) 企業誘致助成制度の創出に向けた検討	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～9月 (4)4月～3月	(1)製造業の事業所訪問を200社以上行い、情報交換を行います。 (2)国や県の東京、名古屋及び大阪事務所との情報交換を随時行います。(3回) (3)アンケート結果の企業ニーズに基づき、準則条例を制定します。 (4)企業誘致を促進するために新たな助成制度の創出を検討します。	(1) 製造業の事業所訪問を76社行い、新技術開発及び販路開拓に向けた支援に努めた。 (2) 国2回、県2回、長野県東京事務所2回、長野県名古屋・大阪事務所各1回訪問し、情報交換を行い、地方創生の本社機能移転事業の前提となる県の地域再生計画策定へ参画した。 (3) 9月議会で上田市工場立地法準則条例を制定。 (4) 民間用地等への誘致促進に向けた助成制度について検討を進めた。	(1) 上田市まちひとしごと創生総合戦略に「ものづくり企業相談体制整備事業」を位置付け、ものづくり企業の販路拡大及び新技術開発に向けた支援のため、製造業の事業所訪問を275社行った。 (2) 国2回、県2回、長野県東京事務所2回、長野県名古屋・大阪事務所各2回訪問し、情報交換を行い、県の地域再生計画策定へ参画した。 (3) 9月議会で上田市工場立地法準則条例を制定。10月以降4件の届出があり、企業工場拡張等による設備投資促進に寄与。 (4) 3月議会で民間用地等への企業誘致促進に向け、民有地への設備投資に対する助成制度を新設した。	
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・企業誘致や創業支援を充実することで、市内企業の活性化や雇用の場の確保			取組による効果・残された課題 ・さらに関係機関との連携強化をすることで、一体となって企業支援を行う体制づくりが必要 ・企業に有利な振興策による設備投資が促進されたため、企業ニーズのさらなる把握に努める。 ・農商工連携をさらに推進し、相乗効果を生み出す仕組みづくりが必要		

平成27年度 重点目標管理シート

重点目標		円滑な雇用マッチングのための若者等求職者就業支援と人材育成の推進		部局名	商工観光部	優先順位	4位
総合計画における位置付け		第2編 産業・経済 第1章 地域経済を活性化するために 第4節 安心して働くことができる環境づくり		2014市長マニフェスト における位置付け		- 1 -	
現況・課題	<p>・地域の雇用環境は、有効求人倍率が昨年8月に、6年5カ月ぶりに1倍を回復した後も安定した回復基調を示しています。(平成27.1月:1.13倍)しかし、景気の先行きが透明なことから、求人に占める正規社員の募集の割合が依然として低い状況です。</p> <p>・職種別では、事務職や製造業種で、求職者に対する求人の割合が低く、一方、建設業や介護・看護職では、人材不足が顕著となっており、職種や技能のミスマッチを解消し、円滑な雇用マッチングに向けた取組の強化が求められています。</p> <p>・若者を中心とした求職者には、厳しい状況が続いており、卒業後も就職に就けなかったり、定着せず早期に離職してしまう等、安定した職業に就けない若者が増加し、社会問題となっています。</p>						
目的・効果	<p>・緊急雇用対策事業として、平成26年度から取り組んでいる地域人づくりにより、若者や高齢者の就職促進や人材不足が深刻な建設業の人材育成・入職促進に努めます。</p> <p>・求職者支援事業として、専門員による生活・就職相談の充実を図るとともに、上田職業安定協会等関係機関と連携し、首都圏も含めた求職者に、魅力ある地元企業情報を積極的に発信するとともに、就職面接会の開催、インターンシップ事業、学生支援フォーラムを通じて、きめ細やかな雇用マッチングの場の創出やUJターンの推進に取り組みます。また、新たに若者の職場定着支援セミナーに取り組みます。</p> <p>・職業能力開発支援として、求職者のスキルアップを促す各種セミナーを開催するとともに、3年目を迎える上田地域高等職業訓練センター事業に対し、支援することにより、勤労者の技能継承と向上を図り、地域企業の競争力強化とそれに伴う雇用の安定につなげます。</p>						
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)			
<p>求人企業と求職者の確実な雇用マッチングに向けた求職者就職促進・人材育成事業(地域ひとりづくり事業)の推進</p> <p>(1)若者等求職者スキルアップ・就職支援事業 (2)建設業若年者雇用・教育プロジェクト (3)高齢者地域就業促進事業</p>	<p>(1)4月~3月 (2)4月~8月 (3)4月~7月</p>	<p>(1)正規雇用15人 (2)正規雇用13人 (3)正規雇用1人(就業拡大30人)</p>	<p>(1)若年求職者15人(2期生)が地域内正規雇用を目指し、ビジネススキルの向上に取り組んだ。 (2)若年求職者15人が、建設業に必要な知識・技能を習得するべく、職場体験研修等に取り組んだ。 (3)高齢者就業支援員として、1人正規雇用になり、15事業所61人の高齢者新規就業に結びついた。</p>	<p>(1)若年求職者15人を基礎研修・職場体験研修を通じ人材育成し、13人が正規雇用に結びついた。(達成度87%) (2)若年求職者15人を、建設関係の技能を習得させ、13人が正規雇用された。(達成度100%) (3)シルバー人材センターにおいて、就業支援員として1人を育成し・正規雇用となり、15事業所61人の新規就業が開拓された。(達成度203%)</p>			
<p>学卒者・若年者の就業支援</p> <p>(1)学卒者就職面接会の開催 (2)学生就職支援フォーラムの開催 (3)学卒者募集企業に関する情報発信 (4)学生の職場体験及び事業所訪問の実施 (5)若年者の就業・社会復帰支援</p>	<p>(1)4月~3月 (2)10月 (3)4月~3月 (4)6月~2月 (5)4月~3月</p>	<p>(1)就職面接会3回、ガイダンス2回 (2)100名参加 (3)首都圏等の大学等630校に企業情報誌を配布、HPによる情報発信 (4)インターンシップ事業100人 事業所見学会250名 (5)職場定着支援セミナー1回、就業支援セミナー5回、保護者相談、就職困難若者カウンセリング就職10人</p>	<p>(1)5月15日企業ガイダンス1回(92人参加)、8月4日信州上田地域夏季就職面接会1回(155人参加)開催。 (2)10月開催予定の上田地域産業展における学生就職支援プログラムの検討。 (3)「企業ガイド上田」を首都圏の大学等625校に配布し、HPで101社の企業情報を発信。 (4)インターンシップ事業(134人参加)、6月5日高校生事業所見学会を開催(356人参加)。 (5)職場定着支援セミナー1回(19人参加)、就業支援セミナー3回(51人参加)。</p>	<p>(1)学卒者就職面接会3回、ガイダンス2回開催。参加者711人(達成度100%) (2)学生や女性等91人が参加し、地域への就職をテーマとした講演会等を開催。(達成度91%) (3)「企業ガイド上田」を大学等646校に配布し、HPでも企業情報を発信。(達成度103%) (4)インターンシップ134人(達成度134%)、事業所見学会350人(達成度140%) (5)職場定着支援セミナー1回、19人参加、就業支援セミナー4回、46人参加、(達成度83%)カウンセリング等による就職24人(達成度240%)</p>			
<p>求職者・勤労者の職業能力向上と企業の人材育成等支援</p> <p>(1)再就職支援(パソコン)セミナー (2)仕事の探し方講座 (3)定年退職前後の手続きセミナー (4)職業訓練施設の事業支援</p>	<p>(1)4月~3月 (2)4月~3月 (3)7月~3月 (4)4月~3月</p>	<p>(1)24回開催(内容を充実) (2)12回開催 (3)5回開催 (4)上田地域高等職業訓練センターの充実に向けた事業支援</p>	<p>(1)再就職支援パソコン・ワークロード編を12回開催(120人参加)ワークロード編はワーク作成コースを加える等内容を充実した。 (2)仕事の探し方講座は、6回開催(75人参加)。 (3)セミナーを2回開催(20人参加)。 (4)補助金交付や広報うえだによる受講生募集等を支援。</p>	<p>(1)再就職支援パソコン・ワークロード24回、194人参加(達成度100%) (2)仕事の探し方講座12回、131人参加(達成度100%) (3)定年退職前後の手続きセミナー5回、58人参加(達成度100%) (4)補助金交付や広報うえだによる受講生募集等を支援(達成度100%)</p>			
<p>求職者や勤労者のための支援の推進</p> <p>(1)求職、労働、生活相談の実施 (2)企業の雇用維持・雇用創出支援と地域雇用情勢に係る情報の収集 (3)勤労者の福祉向上の事業の推進</p>	<p>(1)4月~3月 (2)4月~3月 (3)4月~3月</p>	<p>(1)専門の相談員により相談を受け、関係機関と連携して支援を実施 (2)事業所訪問数400件、アンケート実施 (3)上田勤労者互助会員50人増 生活資金貸付30件 住宅建設資金融資100件</p>	<p>(1)ハローワーク等関係団体と連携した求職・生活相談54件実施。 (2)188事業所へ訪問し、企業等への有益な情報提供を実施。また、7月に市内199事業所に調査表を送付、経営実態(雇用状況)アンケートを実施。 (3)上田勤労者互助会員46人増加(3,338人 3,384人)。事務手続きを簡素化し、生活資金貸付15件の利用促進を図った。</p>	<p>(1)求職・生活相談124件 (2)事業所訪問数415件、事業者アンケート2回実施(達成度104%) (3)上田勤労者互助会員35人増(達成度70%) 生活資金貸付33件(達成度110%) 住宅建設資金融資105件(達成度105%)</p>			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題				
	<p>・求職者の就職活動の多様化に対応し、ハローワーク等の公的就職支援機関にとどまらず、NPO法人や民間人材育成(派遣)会社等民間活力の導入を図りながら、一層の就職支援を推進します。</p>		<p>・ハローワーク上田管内の有効求人倍率は、関係機関と連携しながら雇用対策を進めた結果、年度当初1.04倍から2月1.27倍まで改善した。 ・若年求職者には、就職困難な方や非正規雇用で働く方も見受けられ、引き続き、安定した正規雇用に結びつける取組の強化が必要である。</p>				

重点目標		中心市街地活性化と商店街の主体的取組への支援			部局名	商工観光部	優先順位	5位	
総合計画における	第2編 産業・経済				2014市長マニフェスト		1		
位置付け	第1章 地域を活性化するために				における位置付け				
位置付け	第3節 観光と商業において上田市のファンを増やす								
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年3月に国の認定を受けた、平成27年4月から5年間の新たな「上田市中心市街地活性化基本計画」に掲げる事業を確実に実施し、数値目標（居住人口増加、歩行者通行量増加、空店舗減少）を達成していく必要があります。</li> <li>中心市街地拠点施設としての池波正太郎真田太平記館の魅力発信と来館者増加に取り組む必要があります。</li> <li>大河ドラマ「真田丸」にともない、上田市に訪れる観光客は増加しているが、受入基盤整備の一環として、観光客に分りやすく効率的に観光スポットを周遊するために、観光案内ガイドや観光誘導看板の整備を実施する等の市街地エリアの回遊に取り組んでいく必要があります。</li> </ul>								
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな「上田市中心市街地活性化基本計画」に掲げる事業を確実に実施することで、中心市街地の活性化を図ります。</li> <li>池波正太郎氏及び池波正太郎真田太平記館の魅力を発信するとともに、共有することでコアなファンを増やし来館者増加を図ります。</li> <li>街なか観光ガイドや観光案内看板整備等の観光客受入に係る基盤整備を行うことにより、観光客の利便性の向上とともに、信州上田の魅力向上を図ります。</li> </ul>								
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）					
新たな「上田市中心市街地活性化基本計画」の着実な実施 (1) 基本計画書並びに概要版の関係者等への配布及び基本計画の内容について説明 (2) 計画に掲げる数値目標及び掲載事業の実施状況の確認及び報告 (3) 商店街の主体的取組への支援	(1)4月～3月 (2)随時 (3)4月～3月	(1)冊子600部を配布 (2)国の基本方針に基づき、進捗状況を把握し国へ報告（歩行者通行量22,000人以上、前年比3%増） (3)補助金制度の周知及び補助採択	(1) 計画書冊子に関係者等へ配布（256部）し、9月に基本計画の内容を中心市街地活性化協議会運営委員会に説明。 (2) 5月、6月に、前期計画の総括及び前期計画掲載事業の個別の進捗状況について国に報告。 (3) 商店街が行うイベント事業等について、広報掲載、報道機関への情報提供やポスター・チラシの配布などにより周知を図るとともに、3件の補助採択を実施。	(1) 計画書冊子に関係者等へ配布（265部）。基本計画の内容について、9月に中心市街地活性化協議会運営委員会で説明。 (2) 5月から6月までの間に、前期計画の総括及び前期計画掲載事業の個別の進捗状況について国に報告。（歩行者通行量21,965人、前年比2%増） (3) 商店街が行うイベント事業等について、広報への掲載、報道機関への情報提供、ポスター・チラシの配布などにより周知。これらイベント事業に対する補助制度の周知を図るとともに、3件の補助を実施。 また、商店街などの各関係団体との連携により、「真田十勇士ガーデンプレイス」を整備。					
池波正太郎真田太平記館と関係機関・商店街等との連携による施設の魅力向上と発信 (1) 全国の文学館等との連携促進による相互の来館者の増加 (2) 近隣の真田関連施設や店舗との連携による相互の利用者の増加 (3) まちづくり上田(株)との連携による喫茶ルパスタンの魅力向上 (4) 市民団体等との連携による忍忍洞等の魅力向上にともなう来館者の増加 (5) 周辺学校等との連携による若者や外国人の来館者の増加 (6) 歴史に馴染みの少ない来館者向けの解説方法等の検討 (7) 企画展、写真展などの開催による事業の充実	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 (4)4月～3月 (5)4月～3月 (6)4月～3月 (7)4月～3月	(1)施設検討、照会文書発送5件 (2)関係施設魅力紹介コーナー設置1件 (3)サービス向上5件（出前・テラス席・BGM等） (4)「(仮)忍忍洞・忍者展示を考える会」発足活動 (5)学校訪問説明3校 (6)解説方法検討・試行2回 (7)企画展4回・文化事業5回開催 来館者数3万人 3万5千人	(1) 冊子及びインターネット等で情報収集5件 (2) 関係施設紹介コーナー設置1件 (3) 講座1回、池波先生のCD販売支援等4件 (4) 来年2月21日の「忍者の日イベント実行委員会」に1回出席 (5) 学校訪問2校。隣接する専門学校で講座を開催することで、1回当たりの参加数が約1.4倍に増加（3回） (6) 入館時に見取図により展示内容の説明実施。展示物のキャプション文字拡大及び文章の平易化 (7) 企画展2回、文化事業3回開催 来館者8月末現在18,541人（前年同期比1.28倍、約4,000人増）	(1) 池波先生ゆかりの地、富山県南砺市「井波ふれあい館」と相互にパンフ配置 (2) 玄関の観光パンフコーナーに木のラックを配置充実。商店街及び柳町との回遊を図るため、案内看板、バス停ベンチを設置 (3) 喫茶で講座2回、池波先生のCD及び関連書籍販売支援等5件 (4) 2月21日開催の忍者の日イベント「忍忍フェスティバル」に協力 (5) 学校訪問2校。隣接する専門学校で講座（5回）を開催することで、1回当たりの参加数が約1.4倍に増加 (6) 入館時に見取図により展示内容の説明実施。展示物のキャプション文字拡大及び文章の平易化 (7) 企画展5回、文化事業14回開催 来館者3月末現在43,686人（前年同期比1.38倍、11,957人増）					
おもてなし観光基盤整備の推進による観光客の街なか回遊の促進 (1) おもてなしの心で観光客をお迎えする街なか観光ガイドの実施 (2) 大河ドラマ「真田丸」に合わせた真田氏ゆかりの観光スポットでの観光案内看板の新設、修繕を通年にわたって実施	(1)1月～ (2)随時	(1)街なか観光ガイドの実施市街地エリア1箇所開設 (2)観光案内看板の設置 大手通り、観光会館、神川等15箇所程度	(1) 街なか観光案内所設置運営に向けて関係団体等と協議中 (2) 観光案内看板設置実施中	(1) おもてなしの心で観光客をお迎えする街なか観光案内所「いいね館」をH28.1月から開館し運営を実施。 (2) 大河ドラマ「真田丸」に合わせた真田氏ゆかりの観光スポットでの観光案内看板の新設。 大手通り、観光会館、神川等13箇所。					
市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			取組による効果・残された課題						
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年3月27日付で国から認定を受けた「上田市中心市街地活性化基本計画」の着実な推進を目指します。</li> <li>池波正太郎真田太平記館と関係機関等が連携することにより施設の魅力向上と発信を図り、来館者の増加を目指します。</li> <li>市街地商店街等関係者と連携した中で街なか観光ガイドを実施し、地元市民と協働した観光客の受入基盤を推進します。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>信州上田大河ドラマ館や上田城跡公園に訪れている多くの観光客を中心商店街に誘客し、まちなかの賑わいの創出を図る必要があります。</li> </ul>					